
国民健康保険事業の 取組状況について

(1) 収納率向上対策事業

【 収納率向上対策の重要性 】

- ・ 都道府県単位化により北海道から示される**納付金の確保**が必要となった。
- ・ 納付金が確保できず単年度赤字が発生した場合は、**翌々年度の保険料率を引き上げて（保険料を増額して）赤字の補填をしなければならぬ。**
- ・ 納付金を納めるために**収納率向上対策が重要**となるため、今後も継続して**収納率向上対策**を実施していく。

ア 収納体制の強化

目的

さらなる収納率の向上と、滞納額の縮減を図る。

平成29年度 取組状況

- 平成27年度に増員配置した体制を維持
- 現年班と滞納繰越班の連携を強化
- 債権回収対策室との連携を強化
- 4名の臨時職員による電話催告を実施

イ 滞納処分の実施

目 的	国民健康保険法，国税徴収法等の規定に基づき差押を執行する。
平成29年度 取組状況	<ul style="list-style-type: none">○財産調査・差押を強化○短期証交付者への納付指導○納付誠意のみられない者への差押を強化○約6,000世帯へ催告書を送付
平成29年度 実 績	<ul style="list-style-type: none">・財産調査件数：8,409件(6,694件)・差押件数：1,180件(1,103件)・換価金額：6,050万円(6,443万円) <p>()はH28実績</p>

ウ 納付環境の整備

目 的	収納率向上のため、納め忘れのない口座振替加入者の増加を図る。
平成29年度 取組状況	<ul style="list-style-type: none">○新規加入時における口座振替への積極的な勧奨<ul style="list-style-type: none">・ペイジー口座振替受付サービスの実施○窓口で口座振替勧奨チラシの配布<ul style="list-style-type: none">・口座振替キャンペーンの実施
平成29年度 実 績	<ul style="list-style-type: none">・口座振替世帯：24.92%(23.71%)・ペイジー受付数：429件(593件) <p style="text-align: right;">()はH28実績</p>

収納率向上対策の取組結果

年 度	現年度分	滞納繰越分
平成29年度	91.22%	14.77%
平成28年度	89.82%	12.03%
平成27年度	87.86%	11.20%
平成26年度	85.01%	8.01%
平成25年度	82.48%	7.16%

(2) 保健事業

ア.脳ドック事業

平成25年度より脳ドックの応募要件の1つに、
『前年度の特定健診を受診していること』を追加

< 定員数・応募者数および当選倍率 >

平成29年度	380名	511人	<u>1.34倍</u>
平成30年度	380名	389人	<u>1.02倍</u>